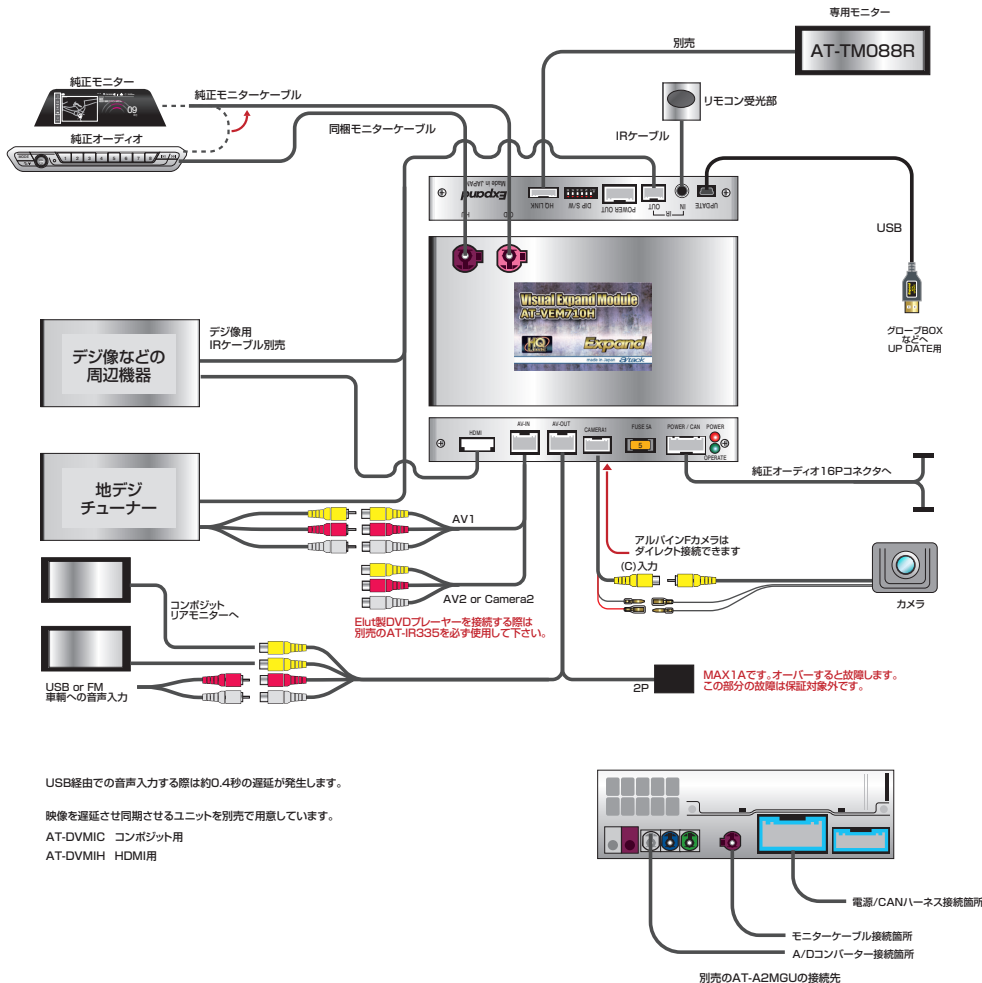


基本接続図

- モニターケーブルの割り込み位置は純正オーディオ(MGU)裏です。モニター裏では無いのでご注意ください。
HSDモニターケーブルで通信されるAPIX2信号は非常にデリケートですので確実&完璧な処理を行って下さい。
※純正モニターケーブル内の4つの端子部が広がっていて当製品に接続した際に内部で接触不良が起きるケースがあります。
この場合、ケーブル側での対策は難しいので当製品のHSDコネクタ(紫)のニードル4本をピックなどで若干向きを変えて勘合時に当たり具合が変わるようにすることで改善出来る場合があります。

※車種によってケーブルの長さが微妙な場合があります。
別売で延長ケーブルを用意しています。(AT-HSD40DD ¥3,000)



USB経由での音声入力する際は約0.4秒の遅延が発生します。

映像を遅延させ同期させるユニットを別売で用意しています。

AT-DVMIC コンポジット用

AT-DVMIH HDMI用

Visual Expand Module

AT-VEM710H

MADE IN JAPAN

SET UP MANUAL

Expand

artack

株式会社エイタック 〒223-0056 神奈川県横浜市港北区新吉田5581 Phone.045-595-1730 Facsimile.045-595-1733

アルバイン製地デジチューナー及びElutDVDプレーヤーを取り付け当製品経由で車両スイッチ操作する場合、付属のIRケーブルは使用出来ません。
別売のAT-IR335を使用してください。

デジタルメディアプレーヤープレーヤーをHDMI接続して車両スイッチ操作をする場合も付属のIRケーブルは使用出来ません。
別売のAT-IR325を使用してください。

当製品は外部映像の入力装置です。音声を直接車両へ入力する事は出来ません。

当製品に音声入力があるのはAVセクターとして機能させる為です。

AV OUTの音声出力を車両オーディオへ入力しますが車両にはAUX入力端子はありません。FM経由orUSB経由で入力する必要があります。

AT-FMTPK FM経由で入力するFMトランスミッターと変換ケーブルなどの必要になるセットです。

AT-A2MGU USB経由で入力するA/Dコンバーターです。

(USB経由では純正オーディオの特性上、音声に若干の遅延が発生します。音声遅延に対して映像を遅らせて同期させるビデオレイモジュールを別売で用意しています。)

AT-VDM1C AV1/AV2などのRCA接続の映像遅延ユニットです。各入力に対して1個必要になります。

AT-VDM1H HDMI用の映像遅延ユニットです。

AT-VEM710H適応車種

- 第7世代iDrive搭載(ヘッドユニットMGU)車両が適応します。(ディスクスロット有り車両除く)

1シリーズ	F40
2シリーズ	F44
3シリーズ	G20, G21
5シリーズ	G30, G31 (ディスクスロット有り車両除く)
6シリーズ	G32 (ディスクスロット有り車両除く)
7シリーズ	G11, G12 (ディスクスロット有り車両除く)
8シリーズ	G14, G15, G16
X3, X4	G01, G02 (ディスクスロット有り車両除く)
X5, X6, X7	G05, G06, G07
Z4	G29

各ハーネスの説明

6P電源/CAN/ハーネス	ヘッドユニット(MGU)裏の16Pコネクタ部でカプラーカプラーで割り込みます。
6Pカメラ変換ハーネス	RCAタイプのカメラ接続の際に使用します。電源も用意されています。
5P信号出力ハーネス	(赤)IG-ON、(緑)イルミ、(紫)リバーズ、(緑)カメラ入力トリガー、(桃)スピードリミット ※各MAX1A、リレーの信号線として使用してください。
12P AV-IN/ハーネス	AV1/AV2のコンポジット入力です。
10P AV-OUT/ハーネス	映像出力2系統、音声出力、2Pコントロール線(このシステムでは基本的に使用しません)
HSDモニターケーブル	当製品-MGU間を接続します。
IR接続ハーネス	地デジチューナーなどのコントロールをする場合、受光部を当製品に入力しこのハーネスで地デジの受光部端子へ接続します。 HDMI入力にデジタルを取り付ける場合、別売のAT-IR325を別途ご購入下さい。 アルバイン製地デジチューナーやElut製DVDプレーヤーを接続する場合は別売のAT-IR335を別途ご購入下さい。 当製品のF/W更新に使用するUPDATE用ケーブルです。
UPDATE用USBケーブル	アルバイン製地デジチューナーやElut製DVDプレーヤーを接続する場合は別売のAT-IR335を別途ご購入下さい。 当製品のF/W更新に使用するUPDATE用ケーブルです。

DIPスイッチの設定

● まず本体のDIPスイッチの設定を行います。 ※車輛に合わせ確実に設定して下さい。

DIPスイッチは下記の指示に従い設定を行って下さい。

					
1 リバースアクション設定	OFF	PDC優先動作	ON	リバースギヤ連動動作	
2 使用しません	OFF		ON	禁止	
3 2Pコントロール線出力方法	OFF	外部映像表示→MEDIAボタン押すまで出力	ON	車両スリープから起動中は常に出力	
4 キャンセラー機能	OFF	非活性化	ON	活性化(車種により対応出来ません)	
5 使用しません	OFF		ON	禁止	
6 使用しません	OFF		ON	禁止	

※DIP3番ONで使用する事で映像遅延ユニットの電源として使用が可能です。

※DIP4番ONにする事でVEMメニューでキャンセラーON/OFFが設定可能になります。
(車種により対応出来ません)

各入出力の説明1

AV入力

AV1は地デジチューナーのコントロール機能対応入力です。コントロール対応地デジチューナー接続の場合は当製品に受光部を経由して接続してください。

※アルパイン製の地デジチューナーを接続する場合は別売の受光部キットAT-IR335が必要です。

AV2はElut製DVDプレーヤーのコントロール機能対応入力です。別売の受光部キットAT-IR335が必要です。

※AV2はVEMメニューでCamera2入力に切り換え可能です。AV2とCamera2の選択式となる為、同時利用は出来ません。

Camera1入力

6PのCamera1入力はダイレクト接続でアルパイン製フロントカメラが接続可能です。カメラのコントロールがiDriveで可能になります。付属の変換ケーブルを使用する事でRCAタイプの汎用カメラが使用出来ます。

接続したカメラの表示はVEM設定で決定した呼び出しボタンにて表示させる事が出来ます。

HDMI入力

720pの信号のみをサポートします。

HDMIケーブルは付属しませんのでご用意ください。(一般的なAタイプです)

※720p以外は表示出来ません。接続する機器毎の検証は行っていませんのでご了承下さい。

AV出力

映像出力2系統はRCA接続のリヤモニターを2台接続可能です。

音声出力はA/DコンバーターやFMトランスミッターなどに接続してください。

2P出力は基本的には使用ませんが、DIP3番の設定で12V出力の設定が出来ますのでアイデア次第でご使用下さい。

HQ Link出力

専用リヤモニターAT-TM088Rを接続する端子です。純正映像/外部映像を最大限綺麗に表示出来ます。

IR-IN/OUT

リモコン信号の接続です。取り付けするAV機器の受光部をIR-INに接続して同梱のIRケーブルをOUT→AV機器と接続します。

※アルパイン製DTVやElut製DVDは同梱のIRケーブルは使用出来ません。別売のAT-IR335を使用して下さい。

※デジ像も同梱のIRケーブルは使用出来ません。別売のAT-IR325を使用して下さい。

※IR-OUTは各入力での使用も可能なように2系統有ります。この際も受光部は1個で共用できる設計になっています。

UPDATE用USB

当製品のUPDATE用のUSBケーブルとなります。

接続してグローブBOXや助手席足元などに出しておきます。ファームウェアのアップデート時など車輛を分解せずにUPDATE作業が出来るようになります。

※ファームウェアのUPDATEは製品安定性向上など頻繁に行って行きますのでなるべく最新ファームウェアでご使用をお願いします。

各入出力の説明2

5Pサービス電源

(赤) IG-ON電源です。出力MAX1Aですのでリレーの信号線としての使用を推奨します。

(橙) イルミ電源です。出力MAX1Aですのでリレーの信号線としての使用を推奨します。

(紫) リバース電源です。出力MAX1Aですのでリレーの信号線としての使用を推奨します。

(緑) リモート入力線です。ココにボジ入力が入りますとVEMメニューで設定したCamera入力(Camera1、Camera2選択可能)が強制的に呼び出せます。

(桃) 4バルブ式のスピードバルブ出力です。

結線方法

車輛のモニター信号はAPIX2通信という高度な通信で制御されています。高周波デジタル信号は物凄くデリケートで些細なノイズなどの影響も受け易い特性があります。更にid7システムではモニターの解像度が更に上かりid5/id6のシステム以上にデリケートですので確実な作業をお願いします。またMGU付近にはデッドスペースも少なく配線処理を的確に行わないと上手く設置出来ません。無理な設置は各端子を損傷する恐れがありますので注意して作業して下さい。

製品の安定動作はインストーラーの取り付け技術で左右されます。

バッテリーを外すが、車輛をスリープに入れてから作業します。

車輛は各スイッチ部にタッチセンサーが多用され、簡単にスリープから起き上がってしまいます。不要なエラーを出さないように注意しながら分解して下さい。センターコンソール付近をサービスマニュアルなどを参照して分解し、純正オーディオ(MGU)を取り外します。

純正16Pコネクタ部に製品同梱の電源/CANハーネスを割り込ませます。

AT-A2MGUを使用する際はUSB1コネクタ部へA/Dコンバーター用ハーネスを割り込ませます。

HSDモニターケーブル部の間に当製品を割り込ませます。(接続は十分に注意して慎重に行ってください。)

当製品に接続するAV機器など4ページ目の接続図を見て間違えのないように全て接続して配線処理を綺麗に仕上げます。

各ケーブルの届く範囲でデッドスペースに当製品を設置します。

(本体をスポンジなどで巻き付けるような設置は行わないで下さい。熱がこもり不具合の原因になります。)

各配線の接続が完了したら動作確認を行います。

取り外している純正部品をある程度組付け問題を起こしそうなコネクタ類は全て接続してから行って下さい。

本体LEDの説明

●赤消灯	●緑消灯	当製品がスリープ状態です。(車輛CAN信号停止状態)
●赤点灯	●緑消灯	当製品がスタンバイ状態です。(車輛CAN信号起動中でIG-OFFの状態や当製品のメンテナンスモード中)
●赤点灯	●緑点滅	当製品がオペレート状態です。(車輛がIG-ONで動作可能状態)

車輛のイグニッションを立ち上げLEDが赤点灯、緑点滅となる事を確認します。

iDriveコントローラーのHOMEボタンを長押しして当製品のVEMメニューが表示される事を確認します。

接続した機器に合わせ各設定を行います。(取り扱い説明書を参照して下さい。)

問題無ければIG-OFFにして約1分放置します。車輛のCAN信号が停止して第1スリープに入ります。(スタートスイッチのLEDが消灯するタイミングです。)

当製品のLEDが消えてスリープに入るのを確認します。

全ての部品をくみ上げて完成です。付属のコーションステッカーをOBDコネクタ付近に貼り付けて下さい。

弊社では取り付け後の不具合などの際に代品対応なども行いますが返却製品の状態によってはお断りもありません。

製品本体に何か張り付ける場合などはマスキングテープなどを介して作業して頂けるようお願いいたします。